

薬学生実務実習対策研修に参加して

西埼玉中央病院 薬剤部 大越 千紘

平成30年9月7日(金)国立病院機構本部にて、薬学生実務実習対策研修が開催されました。西埼玉中央病院では認定実務実習指導薬剤師が2名在籍し、平成30年度は1期2名ずつ、3つの大学から3期計6名の薬学生を受け入れていました。一部の大学では改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（以下、改訂モデル・コアカリキュラム）の先行導入が行われていますが、ループリックを用いた評価に戸惑うことがありました。来年度から改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習が本格始動するにあたり、もう一度概略評価について学びたいと思い、参加しました。

はじめに、西新潟中央病院 村上明男先生、国際医療研究センター病院 内藤靖雄先生、横浜医療センター 赤木祐貴先生より、各施設での取り組み状況の報告がありました。他施設の取り組みについて知る貴重な機会であり、病院の規模や特徴によって、実習内容を工夫していることがよく分かりました。スケジュールの組み方や実習内容など、当院でも参考にしたいと思います。

保険薬局における改訂モデル・コアカリキュラムへの対応については、日本調剤株式会社 加村潤先生よりお話がありました。今まで病院と薬局の実習はそれぞれの目標で実施されていました

が、改訂モデル・コアカリキュラムでは一本化されており、大学も含めて連携が必要不可欠となります。病院薬剤師が薬局実習についても知ること、実習がよりスムーズに薬局から病院へと進み、病院実習で求められることについてもはっきりしました。

次に改訂モデル・コアカリキュラムについて、薬学教育協議会 関東地区調整機構 委員長 伊東明彦先生よりお話がありました。改訂モデル・コアカリキュラムの概要については、各大学の説明会にて説明を受けていましたが、改訂の必要性から薬学実務実習に関するガイドライン、概略評価について分かりやすくご講義いただき、現場での率直な疑問にも答えていただきました。手探りで進めていた改訂モデル・コアカリキュラム先行導入の実習でしたが、研修に参加して、このままで良い点、改善すべき点分かり、来年度に向けてすべきことが明らかになりました。

今回の研修で学んだことを薬剤部内でも共有し、指導薬剤師だけでなく薬剤師全員で、質の高い実務実習となるよう、取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、本研修でご講義いただきました諸先生方に心より御礼申し上げます。